

令和6年度

適性検査 1—1

問題用紙



1 まささんは、持続可能な社会の学習をきっかけに「環境にやさしい生活」について興味を持ちました。会話文をふまえながら、あとの(1)~(10)の問いに答えなさい。

まさ：昨日、ほしかった長そでシャツが安く売られていたので、同じようなものを3枚も買ってしまい、家の人にしかられました。

先生：それは大変でしたね。みなさんにも、買い物をするときを考えてほしいことがありますので、「1人あたり(年間平均)の衣服消費・利用状況」を示した資料1を見てください。

資料1 1人あたり(年間平均)の衣服消費・利用状況

買った服	手放す服	着用されない服
約18枚	約12枚	約25枚

*手放す服や着用されない服には、以前から持っている服も含まれるため、それらの合計は買った服の枚数と一致しない場合がある。
(資料1 環境省ホームページより作成)

まさ：資料1の状況がくり返されると、買った服の枚数が手放す服の枚数より多くなるね。すると、家にある服が増えて、着用されない服も増えてしまうよ。

けい：そうですね。つまり、買い物をするときには、**あ**を考慮することが大切だということですね。

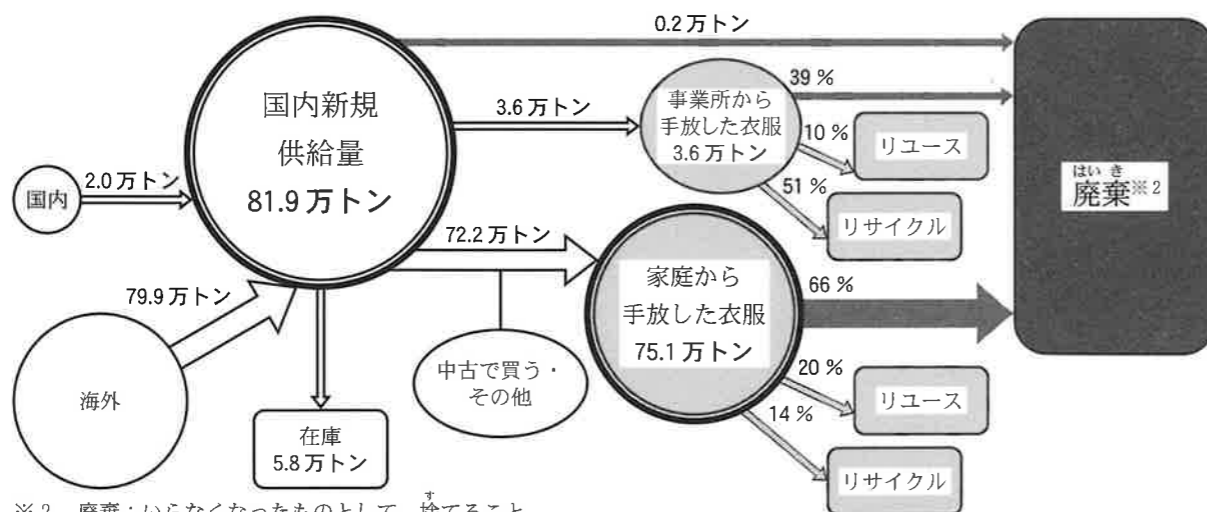
先生：そのとおりです。

ゆう：しかも、手放す服が増えることで、ごみの量が増える可能性もありそうですね。

先生：そうですね。それでは、国内で新たに供給された衣服が処理されるまでの流れを示した資料2を見てください。

※1 供給：売るために商品を提供すること。

資料2 衣服が供給されてから処理されるまでの流れ



※2 廃棄：いらなくなったものとして、捨てること。

(資料2 株式会社日本総合研究所「環境省 令和2年度 ファッションと環境に関する調査業務」より作成)

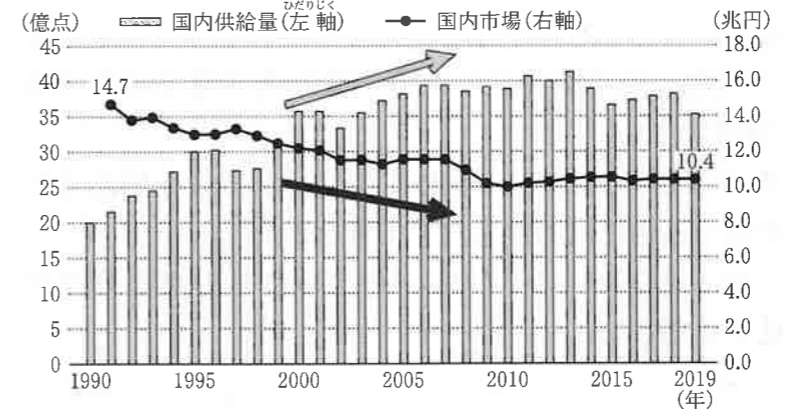
けい：資料2から、国内で新たに供給された衣服のうち、廃棄された衣服の量が**い**万トンもあるのに、家庭から手放した衣服のうち、廃棄されずに活用されている衣服の量が**う**万トンしかないことがわかります。

先生：よいところに気がつきましたね。

ゆう：どうして、こんなに多くの衣服が廃棄されてしまうのでしょうか。

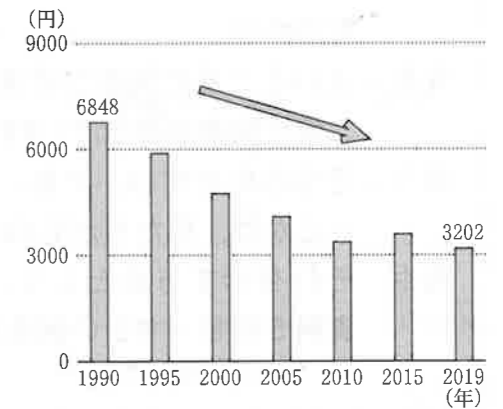
先生：衣服の供給量や価格から考えてみましょう。資料3と資料4を見てください。

資料3 国内での衣服の供給量と市場規模^{※3}の変化



※3 市場規模：商品を売したり、取引したりした金額等のこと。

資料4 衣服1枚あたりの価格



(資料3, 資料4 環境省ホームページより作成)

けい：資料3と資料4から、全体的に国内での衣服の供給量が**え**ということがわかります。つまり、資料2(前ページ)~資料4を見ると、**お**生産・**お**消費が拡大していることで、**お**廃棄につながっていると考えられますね。

先生：そのとおりです。衣服の供給や廃棄などにおける問題に気づくことができましたね。

まさ：廃棄される衣服が増えると、廃棄される際に二酸化炭素が出てしまい、環境にもよくないですね。

先生：よいところに気がつきました。では、二酸化炭素に着目して、さらに環境について考えてみましょう。

- (1) **あ**にあてはまる言葉として最も適当なものを、次のア~エのうちから1つ選び、その記号を書きなさい。
ア 安全性 イ 通気性 ウ 必要性 エ 意外性
- (2) **い**, **う**にあてはまる数を書きなさい。ただし、それぞれ四捨五入して、小数第1位まで書くこと。
- (3) **え**にあてはまる言葉として最も適当なものを、次のア~エのうちから1つ選び、その記号を書きなさい。
ア 減少しており、市場規模も小さくなっているのは、衣服1枚あたりの価格が下がっているためである
イ 減少しているのに、市場規模が大きくなっているのは、衣服1枚あたりの価格が上がっているためである
ウ 増加しており、市場規模も大きくなっているのは、衣服1枚あたりの価格が上がっているためである
エ 増加しているのに、市場規模が小さくなっているのは、衣服1枚あたりの価格が下がっているためである
- (4) **お**に共通してあてはまる言葉を、漢字2字で書きなさい。

まさ：衣服以外にも、^{わたし}私たちが買っているものはたくさんあるよ。ごみとして廃棄されるときに、二酸化炭素が出るのはわかるけれど、ものを生産するときはどうなのかな。

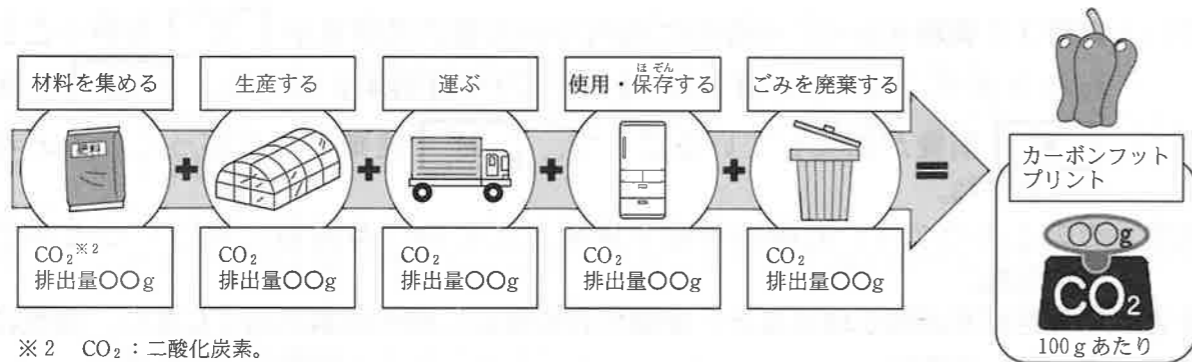
先生：よいところに気がつきましたね。ものを生産したり消費したりする過程でも、二酸化炭素が排出^{はいしゅつ}※1されます。

ゆう：そうなのですね。でも、生産などの過程で二酸化炭素がどのくらい排出されているかは、私たちがものを買うときにはわからないですよ。

先生：それを示す方法として、「カーボンフットプリント」というものがあります。資料5のピーマンの例を見てください。

※1 排出：外に出すこと。

資料5 カーボンフットプリント(例：ピーマン)



※2 CO₂：二酸化炭素。

(資料5 宮崎県・宮崎県経済農業協同組合連合会 ^{みやざきブランド推進本部}みやざきブランド推進本部「環境にやさしいみやざきブランド」より作成)

けい：資料5を見ると、「材料を集める」から「ごみを廃棄する」までの過程で **か** したものが、カーボンフットプリントだということがわかりますね。

先生：そのとおりです。

まさ：**き**からも、環境へのえいきょうを「見える化」して意識できることが利点ですね。

先生：よく考えられましたね。そうすることで、どちらの立場からでも環境への負担を減らす方法を考えることができるようになりますね。ものの生産の過程で、環境に負担をあたえてしまうことが他にもあるか考えてみましょう。

けい：水の使いすぎも環境に負担をあたえているのではないかな。

ゆう：生活科の授業でピーマンなどの野菜を育てたとき、毎日欠かさず水をあげたよね。クラスの全員が野菜を1つずつ育てていたから、かなりたくさんの水を使った気がするよ。

まさ：それなら、食品の生産に水がどれだけ使われるかを調べてみよう。

(5) **か** にあてはまる言葉を、10字以上15字以内で書きなさい。

(6) **き** にあてはまる言葉を書きなさい。ただし、解答らんにしたがい、それぞれひらがな3字で書くこと。

まさ：昨日の夕食で肉じゃがを食べたよ。その1人分の食品に、どのくらいの水が関係しているか「バーチャルウォーター」量を調べてみたよ。資料6を見てください。

資料6 肉じゃが1人分の食品のバーチャルウォーター量

食品名	1人分の量(g)	バーチャルウォーター量(L)
ジャガイモ(アメリカ産)	100	19
インゲン(メキシコ産)	11	3
牛肉(オーストラリア産)	50	1030

(資料6 環境省ホームページより作成)

ゆう：バーチャルウォーターとは、何でしょうか。

先生：輸入した食品を自分の国で生産するとしたら、どのくらいの水が必要か推定^{すいてい}※したものをバーチャルウォーターといいます。

けい：どうして、ジャガイモやインゲンに比べて、牛肉のバーチャルウォーター量が多いのかな。

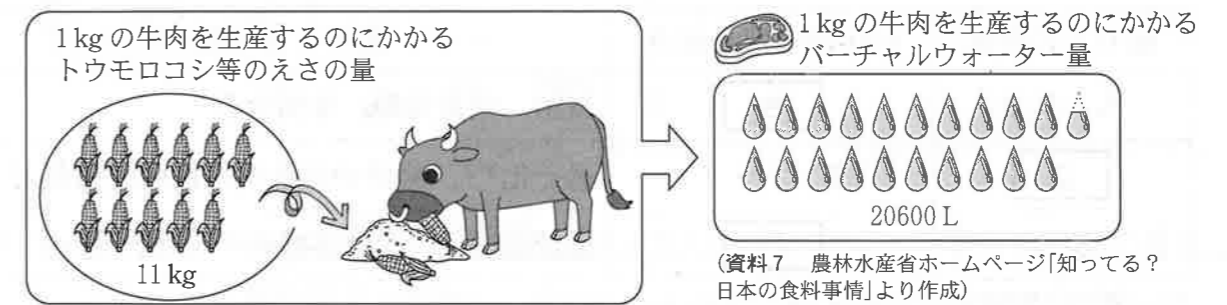
ゆう：牛は、水をたくさん飲むからじゃないかな。

けい：それだけで、そんなにバーチャルウォーター量が変わるのかな。

先生：では、資料6のようにジャガイモやインゲンに比べて、牛肉のバーチャルウォーター量が多い理由を、資料7から考えてみましょう。ただし、トウモロコシはジャガイモよりも、さらにバーチャルウォーター量が多いです。

※推定：たぶんこうではないかと考えて決めること。

資料7 1kgの牛肉を生産するのにかかるトウモロコシ等のえさの量とバーチャルウォーター量



(資料7 農林水産省ホームページ「知ってる? 日本の食料事情」より作成)

まさ：資料7から、牛肉のバーチャルウォーター量が多いのは、牛が飲む水の量だけではなく、牛が **く** に必要な水もふくまれているからということですね。

先生：そのとおりです。

けい：そうすると、資料6に示された牛肉やジャガイモ、インゲン等の食品を輸入している日本は、それらを生産している遠くはなれた **け** も輸入しているのと同じことになりそうですね。

先生：よいところに気がつきました。食品の輸入について考えていくことも環境への配りよにつながっていきそうですね。

(7) **く** にあてはまる言葉を、10字以上15字以内で書きなさい。

(8) **け** にあてはまる言葉を、5字以内で書きなさい。

けい：私は日ごろ買い物をするとき、安さや便利さばかりを優先していましたが、最近、[「エシカル消費」という取り組みが大切だと新聞で読みました。

ゆう：エシカル消費とは、具体的にどのような取り組みですか。

先生：エシカル消費とは、社会問題や地球環境に配りよした商品を選んだり、持続可能な社会を実現するための行動をとったりすることです。

けい：エシカル消費の具体的な取り組みについて調べてみたので、資料8を見てください。

資料8 けいさんが調べたエシカル消費の具体的な取り組み例

A 水産資源の保護に配りよして行われる漁業の水産物を選ぶ。	B 売上金の一部が被災地への寄付につながる商品を買う。	C 動物のことを考えた取り組みを行っている生産者から商品を買う。
D リサイクル素材を使って生産された商品を買う。	E 障がいがある人の支えにつながる商品を買う。	F 伝統的な料理を食べたり、伝統工芸品を買ったりする。
G フェアトレード※1で生産された商品を選ぶ。	H ペットボトル入りの飲み物を買わず、水とうを持っていく。	I 地産地消を意識して、野菜や肉などの商品を買う。

※1 フェアトレード：発展途上の国でつくられた製品・農作物を買う場合に、公正な価格で取り引きするしくみのこと。

まさ：資料8のような取り組みは、それぞれどのようなことに配りよしているのかな。

けい：さらに、エシカル消費について調べて、資料8のA～Iの取り組みを配りよの対象ごとに資料9のようにまとめてみました。

資料9 けいさんがまとめたエシカル消費の取り組み

配りよの対象	具体的な取り組み	関係する課題
人・社会	さ	貧困、児童労働、差別など
こ	B・F・I	過剰化※2、経済の活性化、復興支援など
環境	し	地球温暖化、生物多様性※3の減少など

※2 過剰化：農村などの人口が少なくなっていくこと。

※3 生物多様性：たくさんの種類の生きものが、さまざまな環境にいること。

先生：よくまとめられていますね。千葉県でも「千産千消デー」という私たちが住んでいる「こ」でとれたものを、給食に活用する取り組みが行われています。

まさ：千産千消メニューの日は、近くでとれたおいしい野菜や肉が給食に使われるから楽しみです。こういうことも、エシカル消費につながっているんですね。

(9) 次の①、②の問いに答えなさい。

- ① 資料9と会話文をふまえて、「こ」にあてはまる言葉を、3字以内で書きなさい。
 ② 資料9の「さ」、「し」にあてはまる取り組みとして最も適当なものを、資料8のA、C、D、E、G、Hのうちからすべて選び、その記号をそれぞれ書きなさい。ただし、同じ記号を2回以上使わないこと。

先生：千葉県の「ちばエコスタイル※1」という取り組みの中で、マイバッグ※2を使うことをすすめる「ちばレジ袋削減※3エコスタイル」というものがあります。

ゆう：私も知っています。二酸化炭素を減らすためにマイバッグの使用が大切だと聞いたから、マイバッグを3つも持っています。

まさ：ゆうさんは、これまで買い物で何回くらいマイバッグを使ったのですか。

ゆう：3つとも夏休みに買ってから、それぞれ10回くらいは使ったよ。でも、少しよごれてきたものもあるから、二酸化炭素の削減のためにも、また新しいマイバッグを買おうと思っているよ。

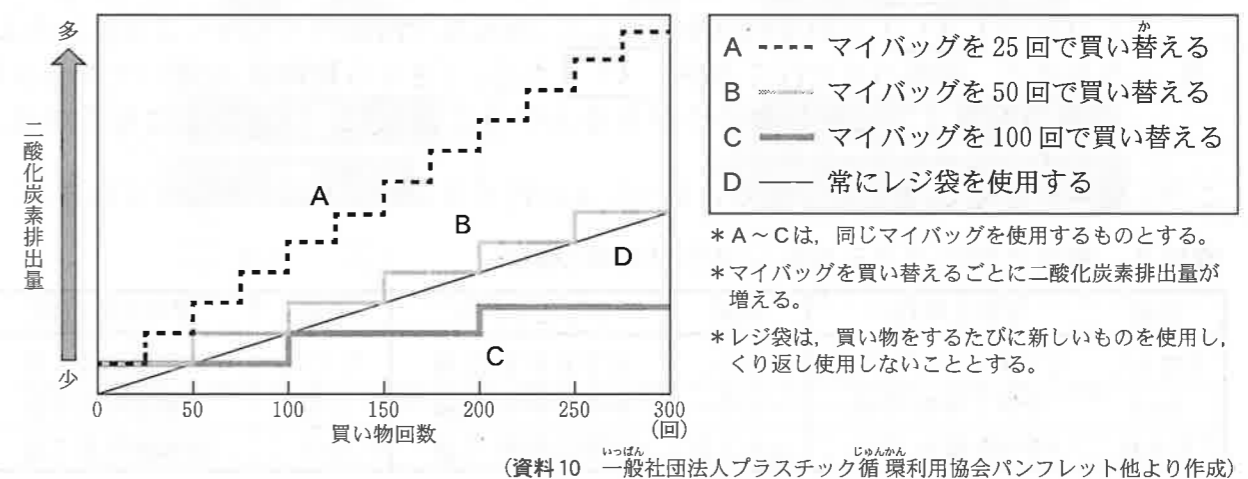
けい：ゆうさんのマイバッグの使い方だと、二酸化炭素の削減につながっているとは言えないかもしれないよ。資料10を見てください。

※1 ちばエコスタイル：ごみを減らすために、身の回りのできることを行う千葉県の取り組み。

※2 マイバッグ：自分で用意する、買った品物を入れるための買い物袋。エコバッグとも言う。

※3 削減：数や量を減らすこと。

資料10 マイバッグやレジ袋を買い物に使用した回数と二酸化炭素排出量の関係



まさ：資料10から、ゆうさんのマイバッグの使い方が、常にレジ袋を使用した場合と比べて、二酸化炭素の削減につながっていないということがわかりますね。

先生：そのとおりです。

ゆう：マイバッグをたくさん持っているだけでは、二酸化炭素の削減につながらないのですね。

先生：みなさん、とても大切なことに気がつきましたね。これからも、「ちばエコスタイル」にある「誰でも、すぐに、簡単に」取り組めることを心がけていきましょう。

- (10) 下線部すについて、ゆうさんのマイバッグの使い方が、二酸化炭素の削減につながっていない理由を、資料10からわかる二酸化炭素を削減するためのマイバッグの使い方を示して書きなさい。ただし、資料10のA～Dのすべてのグラフにふれながら書くこと。

2 けんさんと弟のこうさんは、「公共交通」について家族で話をしています。会話文をふまえながら、あとの(1)~(8)の問いに答えなさい。

けん：今度、地域のバドミントンクラブの仲間と「中央駅」に9時に集合して、そこから公共交通を利用して「さくら動物園」へ遠足に行くことになったよ。そこで、「中央駅」から、電車と徒歩で行く方法と路線バスで行く方法のどちらにするかを、資料1を見て話し合ったよ。

資料1 「中央駅」から「さくら動物園」へ行く方法の時間と運賃のちがい

	電車と徒歩	路線バス
出発時間	中央駅発 9時10分	中央駅発 9時5分
移動時間	<電車>15分 <徒歩>5分	<路線バス>20分
運賃(大人運賃)	<電車>200円	<路線バス>230円

母：最終的には、どちらの行き方に決まったの。

けん：資料1で、「中央駅」から「さくら動物園」に行くための、時間と運賃を比べると、電車と徒歩で行く方法には、**あ** という利点があったけれど、路線バスで行く方法の**い** という利点を優先して、みんなで路線バスで行くことにしたよ。

母：なるほど、路線バスで行く方が**い** から、「さくら動物園」に着いてから9時30分の開園までに少し余裕があるということだね。いっしょに行くのは、どのようなメンバーなのかな。

こう：資料2を見て。遠足のしおりにいっしょに行く9人のメンバーがのっているよ。

資料2 遠足に行くバドミントンクラブのメンバー

名前	学年と年れい	名前	学年と年れい	名前	学年と年れい
まさとし	大学生(コーチ)22歳	けん	小学6年生12歳	たくや	幼稚園年長6歳
かほ	中学1年生13歳	こう	小学4年生10歳	りな	幼稚園年長5歳
ももね	中学1年生12歳	はるふみ	小学2年生7歳	ゆい	幼稚園年長5歳

けん：ぼくは、路線バスの運賃をそれぞれ計算して合計金額を出す係になったよ。

こう：路線バスの運賃は、区分によってちがうから計算が大変だね。

母：そうだね。資料3を見て考えてごらん。

資料3 路線バスの運賃について

区分	適用される運賃
大人：12歳以上(中学生以上)	大人運賃
小児：6歳以上12歳未満 *12歳であっても、小学生は小児料金です。	小児運賃(大人運賃の半額) *10円未満の数は、切り上げます。
幼児：6歳未満 *6歳であっても、幼稚園児・保育園児は、幼児料金です。	1人で乗車する場合：小児運賃 区分にある大人1人が同伴※する幼児2人まで：無料 *大人1人につき幼児3人以上の場合、3人目から小児運賃が必要です。

※同伴：いっしょに行くこと。

けん：資料1~資料3を見ると「中央駅」から「さくら動物園」に行くまでにかかる、9人の路線バスの運賃の合計は、**う** 円になることがわかるね。

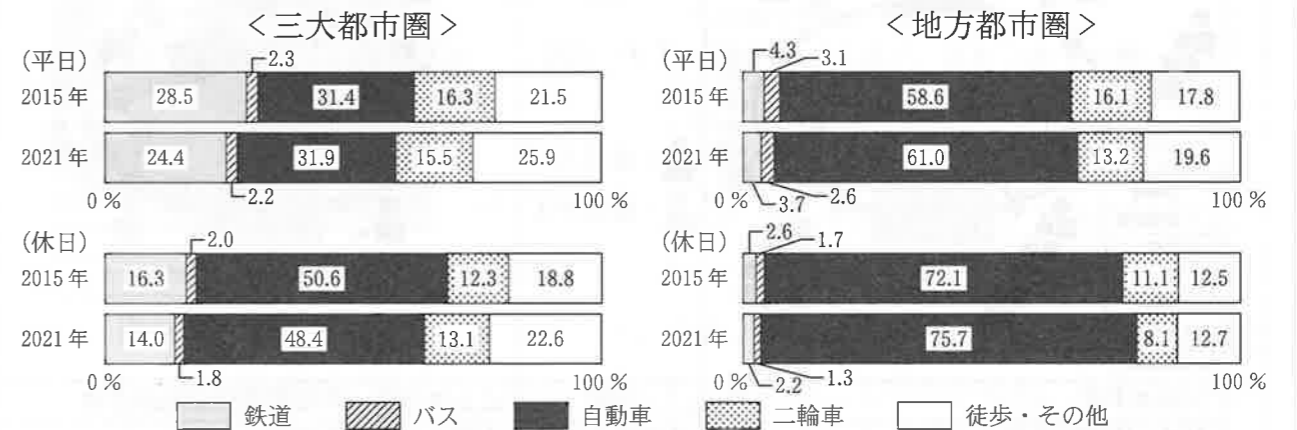
母：よく計算できたね。みんなで楽しく遠足に行ってらっしゃい。

- (1) **あ** , **い** にあてはまる言葉を、それぞれ5字以上10字以内で書きなさい。
 (2) **う** にあてはまる数として最も適当なものを、次のア~エのうちから1つ選び、その記号を書きなさい。
 ア 1050 イ 1160 ウ 1170 エ 1280

母：遠足の日の「さくら動物園」への路線バスには、多くの人に乗っていたかな。
 けん：思っていたより、路線バスの乗客は少なくて、「さくら動物園」へは、自動車であって来ている人が、たくさんいたみたいだよ。

父：なるほど。資料4を見てごらん。「三大都市圏」とよばれる東京、大阪、名古屋といった大きな都市周辺の地域と、「地方都市圏」とよばれる三大都市圏以外の地域で主に利用されている交通手段の割合を、平日と休日に分けて示したものだよ。

資料4 三大都市圏・地方都市圏の主な交通手段の利用率



(資料4 国土交通省「令和3年度全国都市交通特性調査結果」より作成。ただし、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。)

けん：資料4を見ると、交通手段の利用についてのちがいや変化がわかるね。

父：そうだね。公共交通の利用率も全体的に低くなっていて、路線バスについても、利用者の減少にともなって縮小したり、廃止したりしているところもあるよ。

こう：でも、身近な路線バスがなくなっていくと、子どもや一部のお年寄りのように**お** しない人にとっては、1人で遠くへ移動するときにとっても不便だね。

けん：路線バスなど、これまでの公共交通に代わる取り組みがないか調べてみよう。

- (3) 下線部えについて、次のア~エのようにまとめた内容として、適切なものには○を、適切でないものには×を、資料4からだけでは読み取れないものには△を、それぞれ書きなさい。
 ア 平日・休日とも、どちらの年においても、三大都市圏よりも地方都市圏の方が自動車を利用する割合が高い。
 イ 地方都市圏では、平日・休日とも、2015年から2021年までの毎年、バスを利用する割合が前年を下回っている。
 ウ 三大都市圏・地方都市圏とも、どちらの年においても、休日より平日の方が自動車を利用する割合が高い。
 エ 三大都市圏では、平日・休日とも、2015年に比べて2021年のバスの利用者数が減少している。
 (4) **お** にあてはまる言葉を、5字以上10字以内で書きなさい。

けん：身近な公共交通の新しい取り組みについて調べてみたら、となりのA市で、新たに小型のコミュニティバス※1などを活用した「デマンド交通」というしくみが導入されていることがわかったよ。

こう：現在の路線バスのしくみとは、何がちがうのかな。

けん：デマンド交通についてまとめた資料5と資料6を見て。

※1 コミュニティバス：住民の交通の利便性を高めるために、一定の地域内で運行するバス。

資料5 けんさんがまとめたA市の路線バスとデマンド交通のしくみのちがいをイメージ図

路線バスのしくみ	デマンド交通のしくみ
<p>時刻表 7 ●●●●● 8 ●●●●● 9 ●●●●● 18 ●●●●● 19 ●●●●● 20 ●●●●●</p>	<p>9:00ごろに③から乗って⑥に行きたい。 8:45ごろに①から乗って⑤に行きたい。</p>
<p>乗る人 ● 降りた人 ○</p>	
予約は不要	予約
大型・中型バスなどを活用	インターネットや電話で予約が必要
多くの人を同じ目的地へ輸送することができる。	活用する車種 小型バスなどを活用
主な利点	希望に応じて、運行方法を変更できる。予約がないときは運休することができる。

資料6 A市のデマンド交通の利用者への案内

- ・予約の内容や数に応じて、乗り降りの時間や場所、目的地までの最短ルート※2を決めます。
- ・希望するバス停での乗り降りだけでなく、自宅の前でも乗り降りができるので、とても便利です。
- ・他の利用者といっしょに乗車することもあり、予約が多くなった場合は、目的地に着くまでにかかる時間が長くなる場合があります。

※2 ルート：バスなどが通る経路。

こう：資料5と資料6から、路線バスは、それぞれの路線に道順があって、それぞれのバス停の時刻表に合わせて「バスが、**か** 場所を **か** 時間に走るもの」で、デマンド交通は、利用者の行きたい場所へ行くために「バスが、**き** 場所を **き** 時間に走るもの」ということがわかるね。

父：そうだね。デマンド交通のしくみは、利用者にとって予約の手間がかかったり、予約が多くなると時間がかかったりすることもあるけれど、それぞれの利用者のニーズ※3に合わせた運行ができるのだよ。

※3 ニーズ：求めていること。要求。

(5) **か** , **き** にあてはまる言葉を、それぞれ3字以上5字以内で書きなさい。

けん：公共交通が十分に行きわたっていない地域では、新たなしくみだけでなく、新しい車両を導入する動きもあるみたいだよ。最近、「グリーンスローモビリティ」という車両についてのニュースを見たよ。

こう：グリーンスローモビリティとは、どのような車両なの。

父：グリーンスローモビリティというのは、「時速20km未満で公道※1を走ることができる電動車※2」のことだよ。

けん：グリーンスローモビリティの特ちょうを資料7にまとめてみたよ。

※1 公道：国や都道府県などがつくった、誰でも通れる道。

※2 電動車：電気自動車など、車両の動力に電気を使う車。

資料7 けんさんがまとめたグリーンスローモビリティの特ちょう



車両の大きさ	同じ乗車定員の他の自動車に比べて、約8割くらい大きさ。
車両の側面	窓ガラスやドアはないので、開放感があり、外の風やにおいを感じられる。
最高時速	時速20km未満で、高れい者でも安心して運転することができる。
動力源	電力で走る。家庭用コンセントでもじゅう電可能な車両もある。
走行可能きより	じゅう電1回：30～100km *ガソリン車は給油1回で、約500km以上。

(資料7 国土交通省総合政策局環境政策課「グリーンスローモビリティの導入と活用のための手引き」他より作成)

こう：資料7を見ると、グリーンスローモビリティには、**大きさや形などの特ちょう**から、他の自動車に比べて、**いろいろな利点**があることがわかるね。それならば、すべての公共交通を、グリーンスローモビリティにすればよいのではないかな。

父：そうだね。ただ、利点だけではなく、利用や運行において注意すべき点もあわせて考えることが大切だよ。例として、速度で考えてごらん。

けん：ゆっくりとした速度で走行することは、安全面からみた利点だけど、5km進むのに最も速い速度で15分くらいかかるから、目的地へ **け** したい場合の利用には向いていないよね。また、他の自動車との速さのちがいによって、**渋滞**などを引き起こす可能性があるから、ルートを決める時には **こ** が多い道路をあまり通らないようにすることも注意すべき点ではないかな。

父：よく考えられたね。それぞれの地域にあった方法で、よりよい公共交通を整えていくことが大切だね。

けん：ぼくたちがくらす地域の公共交通の様子について調べてみよう。

(6) 下線部くについて、資料7から読み取れることとして適当なものを、次のア～オのうちから2つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 電動車なので、排気ガスの量が増える。
- イ 1回のじゅう電で、長いきよりの走行が可能なので、長いきよりの輸送に適している。
- ウ 車両の大きさが小さいので、せまい道でも通行しやすい。
- エ 走行する速度がおそいので、高れい者だけが運転することができる。
- オ 側面に窓ガラスやドアがないので、外の景色を楽しみながら走行することができる。

(7) **け** , **こ** にあてはまる言葉を、それぞれ5字以内で書きなさい。

けん：ぼくたちがくらす地域の3つの地区の公共交通についてまとめた資料8を見て、それぞれの地区の人々にとっての「よりよい公共交通」について考えてみよう。

資料8 けんさんが地域の公共交通についてまとめたノート

地区	それぞれの地区の持ちよう
A地区	博物館や歴史あるお寺、桜並木などの観光名所が多い地域。他の地域から電車で中央駅に来て、周辺の観光のために公共交通を利用したい観光客が多い。しかし、道のはばがせまく、バスやふつうの自動車は通れないので、徒歩での観光が中心となり、駅前の観光名所ばかりに観光客が集まっている。
B地区	かつて多くの人が働く工業地帯だった場所に、新しい集合住宅が多く立ちならぶ地域。通勤や通学のために、行きも帰りも毎日同じ時間帯に、中央駅との間で公共交通を利用したい会社員や学生が多い。現在、路線バスはあるが、やや不便なので、中央駅との間を自家用車を利用して移動する人が多く、朝や夕方は道路が混雑する。
C地区	住民が少なく、田んぼや畑が広がる中に住宅が散らばっている地域。病院や商店街など、遠い場所へ出かけるため、公共交通を都合のよい時間に利用したい高れい者が多い。しかし、自宅から路線バスのバス停までが遠く、高れい者にとって1人で出かけることは、大きな負担となっており、高れい者の外出する機会が少なくなっている。

<地域の地図> 〃：路線バスのルート ○：B地区から駅までのルート上のバス停



<路線バスの時刻表>

B地区バス停		
時刻	中央駅行き	
6	15	45
7	15	45
8	15	45
~~~~~		
17	00	15 30 45
18	00	15 30 45
19	00	15 30 45

中央駅バス停		
時刻	B地区行き	
6	00	15 30 45
7	00	15 30 45
8	00	15 30 45
~~~~~		
17	15	45
18	15	45
19	15	45

* 上記以外の時間帯は、すべて1時間に1本ずつ運行している。

こう：たとえば、B地区から中央駅に向かう路線バスの1日の総本数をもっと増やしたり、C地区を通るようにルートを増やしたりすることはできないのかな。

父：この地域の現在の道路状況や人口の減少が進む状況を考えると、路線バスの1日の総本数やルートを増やすこと以外の方法で、「よりよい公共交通」に向けた取り組みが求められているのだよ。

こう：これまでに見た公共交通の特性をふまえて改善したり、活用したりすることで、それぞれの地区の利用者にとって「よりよい公共交通」にできるのではないかな。

けん：資料8から、こんな案を考えてみたよ。 **さ**

母：それはよい案だね。これからは、さまざまな視点で公共交通を考えていこう。

(8) **さ** にあてはまる内容を、資料8と会話文をふまえて書きなさい。ただし、①~③の指示にしたがって書くこと。

- ① 解答らんにしたがい、「よりよい公共交通」に向けた取り組みを行いたい地区をA地区~C地区のうちから1つ選び、○をつけること。なお、いずれを選んでも得点にえいきょうはありません。
- ② 解答らんにしたがい、①で選んだ地区の「よりよい公共交通」に向けた取り組みを9ページ~11ページの会話文や資料からわかる、公共交通の特性にふれながら、書くこと。
- ③ 解答らんにしたがい、②に加えて地区の課題がどのように改善できるかを書くこと。